生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で暮らし続けるために

生活支援コーディネーター が地域づくりを支援します！

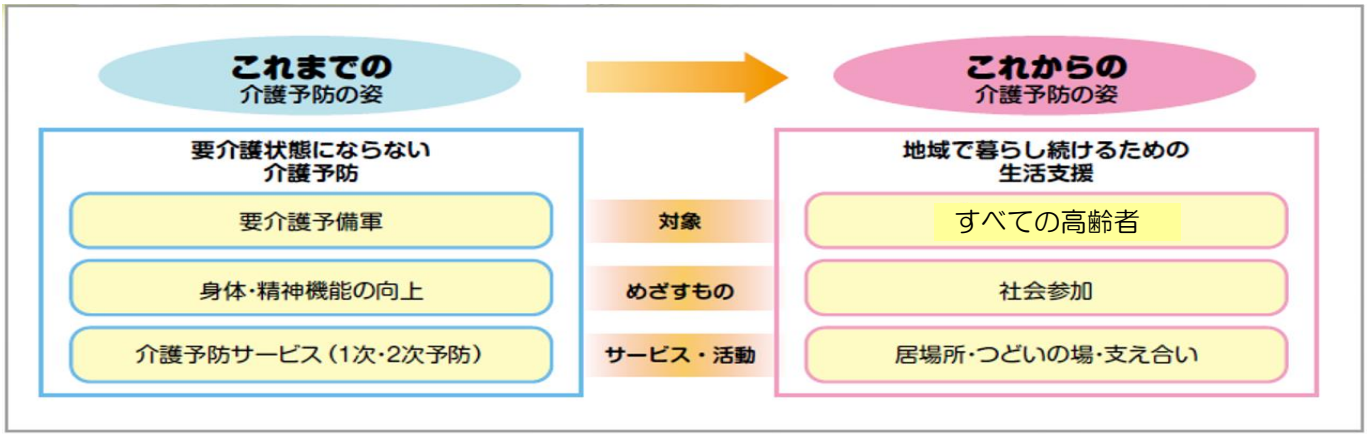
単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、高齢者が地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らしていくため、多様な生活支援や介護予防、社会参加の必要性が増しています。そこで、千歳市では平成29年５月から民間企業やＮＰＯ、ボランティアや地域住民をはじめとした多様な主体が連携しながら、地域における高齢者支援の担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加及び生活支援・介護予防の充実を推進することを目的として、「生活支援体制整備事業」を開始しました。

千歳市社会福祉協議会では、千歳市から本事業の委託を受け、地域の支援ニーズの把握や地縁組織などの関係者間の情報共有、地域で不足しているサービスの創出などのコーディネート業務を行うため、「生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）」を３名配置し「地域づくり」を支援します。

平成29年度は、介護保険制度だけでは対応が難しい場合に活用できる、介護保険外・自費サービスの生活支援等サービスや介護予防を実施しているサロン（通いの場）の社会資源調査など、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制づくりを進めます。

人々が信頼しあい、困った時に助け合える関係が築かれている地域は、健康状態が良いと感じているという研究結果があります！

※ハーバード大学公衆衛生大学院　イチロー・カワチ教授の研究から



これからの地域づくりのポイント

社会参加による介護予防へ

機能訓練重視の介護予防から、**本人の社会参加による介護予防という考え方にチェンジ！**

参加したくなるような場がどれだけ地域にあるのか。また介護が必要になっても参加できる場がどれだけ地域にあるのかが、**地域づくりの鍵**となります。

サービスづくりではなく地域づくりへ

高齢者自身が役割をもって多様なつながりを維持できる地域づくりが目標です。「介護から地域づくりへ」、そして「画一的なサービス整備から多様な地域づくりへ」、発想の転換が求められます。

社会資源は開発より発見

多様な主体による、介護予防等の通いの場（サロン）・生活支援等サービス（介護保険制度外・自費サービス）の情報を探しています！

- 趣味（サークル）活動
- 健康づくり活動
- ふれあいサロンなど
- 食料品等の宅配
- 宅配弁当
- ちょっとした家事支援（ゴミ出し、電球交換など）
- 見守り、安否確認など

千歳市の高齢化率は２１．９％に！
地域の変化に伴い、高齢者の生活課題も変化しています。

平成29年４月の高齢化率は21.9%と過去最高になりました。

平成30年以降も高齢化率が上昇し、平成37年には24.3%まで上昇すると推計されています。

高齢者人口の増加に伴い、要支援・要介護の認定者数も増加することが予想されてい

※千歳市高齢者保健福祉計画・第6期千歳市介護保険事業計画（平成27年度～平成29年度）より抜粋

高齢者人口の推移と将来推計

要支援･要介護者の推移と将来

事業に関するお問い合わせは、
生活支援コーディネーターまでご連絡ください。

担当：千歳市社会福祉協議会　地域福祉課地域福祉係

〒066－0041　千歳市東雲町１丁目11番地

電話：0123－27－2525　／　FAX：0123－27－2528

E-mail：c-shakyo@chitose-shakyo.or.jp